

東京千歳会20周年記念誌

～ 20年の歩み ～

" Tokyo Chitose kai "
20th Anniversary Memorial BOOK



令和3年12月
東京千歳会

会長挨拶

株式会社産業経済新聞社 顧問
一般社団法人ジャパンフワード推進機構 代表理事
太田 英昭



秋の日の光は澄明で肌寒く、早朝近くの公園を歩いているといつのまにか過ぎ去った思い出が甦ってきます。

コロナという禍により交流会は二年続けて中止となり懐かしい方たちとの再会もかきませんでした。

千歳に生まれ、また縁あって千歳で暮らしたものが年に一度東京から千歳にエールを送るこの会も二十歳を迎えました。

交流会のエンディングはいつも清水まりさんのリードによる「故郷」の大合唱。それぞれに甘く切ない記憶を楽しみながら、千歳の発展を願ってきました。

日本全体が沈滞し勢いを失ってきたこの二十年ですが、未だに若く逞しさを維持する千歳は奇跡のまちです。

空港インフラ、支笏湖という自然資源、そして国土防衛の要である自衛隊。

先人が築いて来た千歳の歴史と現在に心より敬意を表します。

木枯らしが吹き一気に日が短くなりやがて一面に雪。

コロナなど関わりなく季節は移ろい、そして陽光の春が。

希望と再生の新しい一年こそ、交流会にて！

東京千歳会

設立年月日：平成14年11月27日

設立目的：会員相互の交流と親睦を図り、郷土愛を育み、千歳市の発展に寄与することを目的とする。

会員数：526人(令和3年11月時点)

活動内容：①理事会の開催(年4回)

②総会の開催(年1回)

③交流会の開催(年1回)

第1回(平成14年)～第18回(令和元年)

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止。

④メールマガジンの配信(不定期配信)

現在まで107号(令和3年7月26日発行)を配信。

東京千歳会のあゆみ

- 平成 14 年 11 月 27 日 東京千歳会設立総会
会場は日本都市センター会館(現在の都市センターホテル)
会員数 248 人
- 平成 15 年 7 月 11 日 会員向けメールマガジン1号発行
11 月 27 日 第2回総会・懇親会
- 平成 16 年 11 月 25 日 第3回懇親会 会場をルポール麹町に変更
- 平成 17 年 11 月 24 日 第4回交流会 会場を九段会館に変更
- 平成 18 年 11 月 21 日 第5回交流会
- 平成 19 年 11 月 21 日 第6回交流会
- 平成 20 年 6 月 9 日 会員向けメールマガジン 50 号発行
11 月 19 日 第7回交流会
- 平成 21 年 11 月 25 日 第8回交流会
- 平成 22 年 11 月 18 日 第9回交流会
- 平成 23 年 11 月 16 日 第 10 回交流会・10 周年記念基調講演
会場を都市センターホテルに変更
- 平成 24 年 11 月 14 日 第 11 回交流会
- 平成 25 年 11 月 18 日 第 12 回交流会
- 平成 26 年 11 月 17 日 第 13 回交流会
- 平成 27 年 11 月 12 日 第 14 回交流会
- 平成 28 年 11 月 14 日 第 15 回交流会
- 平成 29 年 11 月 16 日 第 16 回交流会
- 平成 30 年 11 月 26 日 第 17 回交流会
- 令和元年 11 月 28 日 第 18 回交流会
- 令和 2 年 7 月 13 日 会員向けメールマガジン 100 号発行
11 月 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により交流会中止
- 令和 3 年 11 月 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により交流会中止
- 令和 3 年 12 月 東京千歳会 20 周年記念誌発刊

顧

問

祝

辞

～ 東京千歳会設立 20 周年にあたり、

東京千歳会が設立 20 周年を迎えましたことを、心からお慶び申し上げます。また、太田会長をはじめ、役員の皆様のこれまでのご尽力に深く感謝申し上げます。

平成 14 年(2002 年)11 月の設立以来、交流会に参加しておりますが、「会員相互の交流と親睦を図り、郷土愛を育み、千歳市の発展に寄与する」という会の目的を真に達成しているものと、心から実感しているところであります。

本市におけるこの 20 年は、新千歳空港においては国際線ターミナルの開業・増築、北海道エアポート株式会社による運営開始など、本市とともに歩んできた新千歳空港が著しい発展を遂げたことに加え、道の駅サーモンパーク千歳のリニューアル、公立千歳科学技術大学の開学、また、本年 7 月にはキウス周堤墓群の世界文化遺産への登録など、様々な節目がありました。

企業誘致に関しまして、この 20 年で 120 社を超える企業に立地・増設いただいております。また、本市に所在する自衛隊は、東日本大震災や北海道胆振東部地震などの大災害の際には大きな力を発揮されており、改めて本市が持つポテンシャルの高さを再確認したところであります。

全国的に人口減少が続く中、本市が着実に人口増加を続けておりますことは、交通アクセスや産業インフラの優位性、リスク分散の適地である立地環境の特性など、本市の有する優位性が、活力を維持するための大きな原動力であるとともに、遠く離れていても“ふるさと 千歳”を想う会員皆さまの気持ち、今日の千歳市の発展に大きく寄与していることは言うまでもありません。

今後、新型コロナウイルス感染症が一日でも早く収束し、交流会にて皆さまとお会いできる日が来ることを願うとともに、本会の益々の発展と会員皆さまのご健勝を心より祈念申し上げ、お祝いの挨拶といたします。



千歳市長

山口 幸太郎

東京千歳会が設立 20 周年の記念すべき節目を迎えられましたことに心からお祝いを申し上げますとともに、千歳市に縁のある皆様との楽しいひと時を思い出す記念誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

東京千歳会は、2002 年 11 月に設立されて以来、千歳の応援団として会員数も増加し、千歳市の発展に寄与されておりますことは、ひとえに、太田会長様をはじめとする役員、会員の皆様の熱意の賜と深く敬意を表し感謝申し上げます。次第であります。

さて、例年楽しみにしている東京千歳会交流会は新型コロナウイルス感染症の影響により、本年も中止を余儀なくされておりますが、新型コロナウイルス感染症が収束し、これまで通り活動できる日が一日も早く訪れますことを願いますとともに、東京千歳会の輪がより一層広がりますことを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



千歳市議会議員

山崎 昌則

お祝いの言葉を寄せていただきました ～

東京千歳会が設立 20 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

転勤族の多い千歳市において、本会の存在と役割は大変貴重なものでございます。

自衛隊隊員や、本州から着任された空港や工場などで働く商工会議所会員の方々とは、仕事を通じてお会いし交流と親睦を深めさせていただいておりますが、寂しくも数年の勤務を経て離任されていかれます。

そして時折、その方々を思い出しては、再会したい気持ちが蘇ってきます。

本会は、そのような思いを叶えるべく、年に 1 度東京にて交流会を開催し、再会の場を設けるなど、千歳を縁に出会った方との繋がりを継続させてくれる、我々商工会議所としても貴重な会でございます。

現在は、コロナ禍にあり、交流会の開催は困難であります。そのような中でも、千歳市の情報を会員の皆様に発信いただいているおかげで、時折、転勤で離れた方から、その現状を知って連絡をいただき、話に花を咲かせることが出来ます。

今後、コロナが収束し、また皆様にお会いできることを楽しみに、本会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



千歳商工会議所会頭

入口 博美

東京千歳会の設立 20 周年誠にありがとうございます。

設立に際しましては、千歳を愛し、郷土を慈しむ、発起人の皆様の並々ならぬご努力と志があり、その後も太田会長様をはじめ、歴代の役員各位、事務局のご尽力により会が運営され、今では 500 名を超える会員を擁するまでになったことに深く敬意を表するところであります。

千歳観光連盟も創設時からその趣旨に賛同し、千歳市を中心に関連地域での観光振興を図ることで会の目的達成に寄与してまいりました。

近年は支笏湖チップのブランド化推進のため、千歳市・支笏湖漁業協同組合と連携したチップの加工商品開発などを支援しております。今後も千歳・支笏湖の魅力を発信し、交流会では会員の皆様にチップ商品など地域資源を活用した特産品をご賞味いただけるよう取り組んでまいります。

最後になりますが、20 周年の節目を契機とし、東京千歳会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を心より祈念申し上げます、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人千歳観光連盟
代表理事会長

小田 賢一

～20年の出来事～

西暦	元号	日本・世界の出来事	千歳市の出来事
2002	平成14年	日韓共催サッカーW杯、日経平均株価バブル後最安値	市立千歳市民病院開院、人口90,000人達成
2003	平成15年	新型肺炎(SARS)中国などで大流行、自衛隊イラク派遣決定	支笏湖ビジターセンター リニューアルオープン、深夜貨物定期便就航(全日空 新千歳-羽田)
2004	平成16年	アテネ五輪開催、新潟県中越地方で震度7の地震発生	千歳駅前大型商業施設「ペウレ千歳」開業、千歳命名200年
2005	平成17年	愛知県で「愛・地球博」が開幕、郵政民営化法成立	千歳タウンプラザ(旧エスプラザ)開業、千歳アウトレットモール・レラ開業、道の駅サーモンパーク千歳オープン
2006	平成18年	トリノ冬季五輪開催、安倍内閣発足	市民文化センターリニューアルオープン、第1回スカイ・ピア&YOSA KOI祭開催、ニューサンロードのアーケード撤去、千歳空港開港80周年、「北海1号機」原寸大模型が北海道空港(株)より寄贈
2007	平成19年	中越沖地震発生、福田内閣発足	助役から副市長へ移行、天皇皇后両陛下が千歳サケのふるさと館を御視察
2008	平成20年	北京五輪開催、リーマン・ショック、麻生内閣発足	長都地区暴風雪害により第7師団災害派遣、ジュニア・エイトサミット2008千歳支笏湖開催、市制施行50周年
2009	平成21年	新型インフルエンザWHOがパンデミック宣言、鳩山内閣発足	千歳・アンカレジ姉妹都市提携40周年、支笏洞爺国立公園指定60周年
2010	平成22年	バンクーバー冬季五輪開催、小惑星探査機「はやぶさ」7年ぶり帰還、菅内閣(民主党)発足	新千歳空港国際線旅客ターミナルビル供用開始、埋蔵文化財センター長都移転、防災学習交流センター「そなえーる」開設
2011	平成23年	東日本大震災発生、なでしこジャパンサッカーW杯優勝、野田内閣発足	東日本大震災発生による千歳市災害対策本部設置、千歳市第6期総合計画スタート、防災学習交流施設「防災の森」オープン、天皇陛下が千歳市役所行幸
2012	平成24年	山中教授にノーベル医学生理学賞、ロンドン五輪開催、第2次安倍内閣発足	勇舞中学校開校、新千歳空港国際線年間出入国者数100万人突破
2013	平成25年	「アベノミクス」始動、2020年夏季五輪の東京開催が決定	広報「ちとせ」発刊1000号(昭和26年創刊)、道央自動車道新千歳空港インターチェンジ開業
2014	平成26年	ソチ冬季五輪開催、消費税8%へ引き上げ、広島で土砂災害発生、御嶽山噴火	「ダイナックスアリーナ(スポーツセンター)」リニューアルオープン、支笏湖地区集中豪雨(大雨特別警報発令)
2015	平成27年	ラグビーW杯で日本歴史的勝利、COP21でパリ協定採択	千歳サケのふるさと館がサケのふるさと千歳水族館としてリニューアルオープン、道の駅サーモンパーク千歳リニューアルオープン、支笏湖ビジターセンター入館者数累計600万人
2016	平成28年	北海道新幹線(新青森-新函館北斗間)開業、熊本地震発生、リオ五輪開催	人口96,000人達成、千歳空港開港90周年
2017	平成29年	将棋の藤井四段が29連勝、天皇退位が2019年4月に決定	北海道千歳リハビリテーション大学開学、千歳市立北陽小学校が児童数1,397人となり全国一のマンモス校に道の駅サーモンパーク千歳年間来場者数100万人突破
2018	平成30年	平昌冬季五輪開催、西日本豪雨発生	日本航空専門学校が国際航空ビジネス科を白老キャンパスから新千歳空港キャンパスに移転、人口97,000人達成、北海道胆振東部地震発生(市内最大震度6弱)
2019	令和元年(平成31年)	平成天皇退位により新天皇即位、消費税10%へ引き上げ	市役所第2庁舎開庁、公立千歳科学技術大学開学、航空自衛隊千歳基地で政府専用機の交代式典開催、支笏洞爺国立公園指定70周年、新千歳空港年間乗降客数過去最高2,459万人
2020	令和2年	新型コロナウイルス感染症世界的パンデミック、菅内閣(自由民主党)発足	道央圏連絡道路泉郷道路開通、陸上自衛隊訓練評価支援隊新編、北海道エアポートによる新千歳空港含む道内7空港の運営開始、人口98,000人到達
2021	令和3年	東京五輪開催、岸田内閣発足	日本航空専門学校が日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパスに改称、千歳市第7期総合計画スタート、キウス周堤墓群を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録

ちとせ20年の変遷

1

～ 千歳のまちなみ ～



平成 14 年(2002 年)



令和 3 年(2021 年)

～ 千歳駅前 ～



平成 12 年(2000 年)



令和 3 年(2021 年)

～ ニューサンロード ～



平成 14 年(2002 年)



令和 3 年(2021 年)

ちとせ20年の変遷

2

～ グリーンベルト ～



平成 24 年(2012 年)



令和 3 年(2021 年)

～ 市役所庁舎 ～



平成 14 年(2002 年)



令和 3 年(2021 年)
第2庁舎

～ 新千歳空港 ～

写真提供：北海道エアポート株式会社



平成 16 年(2004 年)



令和 2 年(2020 年)
国際線旅客ターミナルビル

ちとせ 20年 まちの発展

1



平成 14 年(2002 年)
市立千歳市民病院 開院



平成 17 年(2005 年)
千歳アウトレットモール・レラ 開業



平成 18 年(2006 年)
北海 1 号機原寸大模型 北海道空港株より寄贈
展示場所: 蘭越浄水場管理棟



平成 20 年(2008 年)
子育て総合支援センター
「ちとせっこセンター」 開設



平成 22 年(2010 年)
防災学習交流センター「そなえーる」 開設



平成 23 年(2011 年)
防災学習交流施設「防災の森」 オープン

ちとせ 20年 まちの発展

2



平成 24 年(2012 年)
勇舞中学校 開校



平成 24 年(2012 年)
花園コミュニティセンター 開設



平成 25 年(2013 年)
道央自動車道新千歳空港インターチェンジ 開業



平成 26 年(2014 年)
北新子育て支援センター
「げんきっこセンター」 開館



平成 26 年(2014 年)
ダイナックスアリーナ(スポーツセンター)
リニューアルオープン



平成 27 年(2015 年)
道の駅サーモンパーク千歳 リニューアルオープン

ちとせ 20年 まちの発展

3



平成 27 年(2015 年)
サケのふるさと千歳水族館 リニューアルオープン



平成 29 年(2017 年)
休日夜間急病センター「ささえーる」 開設



平成 31 年(2019 年)
2 代目政府専用機 運用開始



平成 31 年(2019 年)
公立千歳科学技術大学 開学

写真提供：北海道開発局札幌開発建設部



令和 2 年(2020 年)
道央圏連絡道路泉郷道路 開通

写真提供：公益財団法人北海道埋蔵文化財センター



令和 3 年(2021 年)
キウス周堤墓群を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録

ちとせ歴史写真館



昭和 27 年(1952 年)
市街地の様子



昭和 30 年(1955 年)
前年の昭和 29 年 4 月に竣工した千歳駅



昭和 34 年(1959 年)
千歳橋付近の国道 36 号



昭和 37 年(1962 年)
七夕飾りの友楽通り



昭和 39 年(1964 年)
千歳市役所旧庁舎



昭和 40 年(1965 年)
グリーンベルト

設立以降の役員紹介

◆ 令和3年度 役員名簿

	役職名	氏名	在任期間
☆	会長	太田 英昭	平成14年～
	副会長	若木 利博	平成16年～
	理事	井手 詩朗	平成23年～
	理事	岩下 正史	平成28年～
☆	理事	加藤 博二	平成14年～
	理事	北倉 芳久	平成23年～
	理事	木暮 洋輔	平成28年～
☆	理事	清水 まり	平成14年～
	理事	高梨 宏樹	平成26年～
	理事	三浦 可栄	平成26年～
	理事	水野 悠希	平成28年～
	理事	小川 善弘	令和2年～
	監事	鍋木 達哉	平成30年～
	監事	八木澤 和夫	平成28年～



理事会の様子(平成15年11月27日)



理事会の様子(平成30年5月16日)

◆ これまでご尽力いただいた皆様

	氏名	在任期間
☆	深井 保男	平成14年～令和元年
☆	茅野 隆司	平成14年～平成15年 平成18年～令和元年
☆	千葉 宏子	平成14年～平成21年
☆	岡西 喜久雄	平成14年～平成18年
☆	小西 有方	平成14年～平成17年
☆	出水 貞行	平成14年～平成15年
	横川 正彦	平成18年～平成25年
	原田 淳	平成19年～平成22年
	宮本 博文	平成23年～令和元年
	田中 希幸	平成23年～平成29年

(順不同、敬称略)



第18回交流会(令和元年11月28日)

☆ 平成14年の東京千歳会設立時にご尽力いただいた皆様

東京千歳会 会則

(名称及び事務所)

第1条 本会は、東京千歳会と称する。

2 本会の事務所は、北海道千歳市東雲町2丁目34番地 千歳市企画部企画課に置く。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の交流と親睦を図り、郷土愛を育み、千歳市の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 会員相互の交流と親睦を図る事業
- (2) 千歳市の発展に寄与する事業
- (3) その他本会の目的達成のために必要な事業

(会員)

第4条 本会は、本会の目的に賛同する者をもって構成する。

(役員)

第5条 本会の業務を執行するため、次の役員を置く。

- | | |
|-----|-----|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 若干名 |
| 理事 | 若干名 |
| 監事 | 2名 |

(役員を選出)

第6条 会長、副会長、理事及び監事は、総会において選出する。

(職務)

第7条 会長は、本会を代表し会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 理事は、会務を執行する。

4 監事は、事業及び事務の執行を監査する。

(任期)

第8条 役員任期は2年とし、再任は妨げない。

2 補欠により就任した役員任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、任期満了後であっても、後任者が就任するまではその職務を行う。

(名誉会長、顧問及び相談役)

第9条 本会に名誉会長、顧問及び相談役を置くことができる。

2 名誉会長、顧問及び相談役は、理事会の推薦により会長が委嘱する。

(会議)

第10条 本会の会議は、通常総会、臨時総会及び理事会とする。

2 会議は、会長が招集し、その議長となる。

3 通常総会は年1回開催し、臨時総会及び理事会は必要の都度開催する。

ただし、総会については、書面総会とすることができるものとする。

(総会)

第11条 通常総会は、次の事項を審議する。

- (1) 事業計画及び事業報告の承認
- (2) 予算及び決算の承認
- (3) 会則の変更に関する事項
- (4) その他本会の運営に必要な事項

(理事会)

第12条 理事会は、総会に付議する事項を審議する。

(収入)

第13条 本会の経費は、会費、寄付金並びにその他の収入をもって充てる。

(委任)

第14条 会則に定めるもののほか、本会の運営に関し、必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

附則

この会則は、平成14年11月27日から施行する。

この会則は、平成15年11月27日から施行する。

この会則は、平成17年4月1日から施行する。

～記念誌発刊にあたって～

本年は東京千歳会設立 20 周年の記念すべき年でした。

本来であれば、盛大な交流会にて皆さまと思い出を分かち合い、記念の年をお祝いしたいところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年に引き続き本年も交流会を中止せざるを得ませんでした。

この記念すべき年を少しでも皆さまと共有するために、このたび“東京千歳会 20 周年記念誌”を発刊し、会員の皆さまへ配付させていただくこととしました。

本記念誌では、会長あいさつをはじめ、顧問祝辞や会員の皆さまからの寄稿、これまでの交流会の懐かしい写真などを掲載しておりますので、ぜひ手に取って読んでいただけますと幸いです。

来年は新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、交流会で再び皆さまにお会いできることを祈念しております。

東京千歳会事務局

東京千歳会 20 周年記念誌

令和 3 年(2021 年)12 月発行
東京千歳会事務局
(千歳市企画部企画課)

〒066-8686 北海道千歳市東雲町 2 丁目 34 番地
電話 0123-24-3131(代表)
F A X 0123-22-8852
Email kikaku@city.chitose.lg.jp